

【第2号議案資料Ⅰ】

令和8年度事業計画および予算（案）

はじめに

大阪大学工業会では、令和2年度に公益目的財産利用の終了後、新規会員の減少傾向もあり、大幅な赤字収支が継続している中、経費節減に努めると同時に、会員へのサービス維持・向上を目指し活動を行っているところ。

工業会本体の赤字額は下記のとおり減少傾向であり、令和7年度も約300万円(寄付の効果を除く)の赤字に抑えることができた。これは、令和6年度については職員の減少などが要因であり、令和7年度については新会員の増加および資金活用を拡大したことが主な要因である。

一方、各種物価の高騰もあることから、令和8年度は下記の計画と予算を設定し、サービスの維持・向上を図りながら、赤字額を600万円以下に抑制することを目指す。

なお、予算計画の段階では、寄付金は見込まないものの、ご寄付の拡大についての活動を継続する。

1. 工業会誌テクノネットの発行

- ・ 令和3年度までは年4回の会誌発行を行ってきたが、経費節減のため令和4年度は年2回の発行とした。さらなる経費削減のため、令和5年度以降、冊子版を年1回(4月号)発行とし経費を節減するとともに、WEB版を年4回(春、夏、秋、冬号)発行とした。また、WEB発行は事務局での内作化を行った。さらに令和6年度からは学内の執筆者への執筆料支払いを廃止した。
- ・ 令和8年度もこれら方針を継続し、経費削減に努めるとともに、情報提供サービスの維持を図る。
- ・ 一方、令和8年度は郵送料(ゆうパック)のさらなる価格改定が決定しており、10%程度の増加が避けられない。
- ・ これらの状況を踏まえ、175万円程度の支出を見込む。
- ・ なお、広告収入は令和7年度と同額の収入を見込む

2. ホームページの活用

- ・ 令和4年度下期からホームページのNEWSの欄での情報提供頻度向上、令和5年度からの工業会誌テクノネットWEB発行版のホームページからのダウンロードなど、ホームページ上での情報発信を改善している。令和7年度は大幅な改定の可能性を見込んでの予算としたが、令和7年度は、大きなホームページ改造を行う必要がなかった。
- ・ 令和8年度は、ホームページを通じた交流の場の提供などの活用方法を検討するが、まず大学本体または同窓会連合会のシステム(オンライン交流ツール「ovice」等)の活用も検討する。

- ・ このため、ホームページの構成の大幅改訂は令和 8 年度に行う可能性は低いですが、改訂が必要になる場合に備え、**通常の維持費 10 万円に 50 万円を追加し 60 万円の予算**とする。
3. 大阪大学工業会賞の授与
- ・ 工業会では博士前期課程修了予定の優秀な学生（学生会員に限る）に対し工業会賞を授与している。
 - ・ 令和 4 年度から制度を大幅に変更し、工学研究科各専攻からの推薦制とした。
 - ・ 令和 7 年度は推薦上限を 16 人に対し、制度変更後はじめて 16 名の推薦があった。令和 8 年度も上限を 16 人として推薦を募集する。
 - ・ 副賞は、制度変更後 3 万円/人×16 人とし、賞状作成の簡素化などを継続することで、予算は従来レベル（50 万円）で設定する。
 - ・ 吹田祭支援も含め、**奨学支援費として 55 万円を予算化**する。
4. 講演会等の開催・共催・協賛（WEB 配信含む）
- ・ 総会後の講演会、吹田祭等協賛事業の講演会の他、他団体との協力関係を強めるとともに、工業会会員に対する情報提供サービス向上に資する活動を行っていく。
 - ・ 特に専攻同窓会との連携を強化することが重要との認識のもと、専攻同窓会の行事の共催または協賛を行い、資金的支援を行うだけではなく、WEB 講演会などを工業会会員と専攻同窓会が共有するなどの活動を検討する。
 - ・ 共催、協賛時の支援金として従来 10 万円程度の増額を見込み、予算は令和 7 年度と同様 **20 万円**で設定する。
 - ・ なお、専攻同窓会との連携強化のための情報交換会を定期的を開催することとし、令和 8 年については、新年会に幹事の先生をご招待することとした。（令和 8 年の新年会は参加されなかった）
5. 支部活動支援
- ・ 東京支部での活動の支援として従来レベルの **40 万円**、大阪支部での活動の支援として **10 万円**、合計 **50 万円**を見込む。
6. キャリアアップ支援
- ・ 工学研究科主催行事（女性研究者とその卵たちの集い等）の共催などで支援を行っているが、支援額が増加することに備え **5 万円を見込む**
7. 社会人教育事業（高分子、パワエレ塾、機械系技術交流会）の事務（収入部分）
- ・ 社会人教育事業の事業計画はそれぞれの主催者の判断で行われている。工業会は会計の窓口となり会計手続きを担当している。
 - ・ この事務経費として 2022 年度までは収入の 5%を内部振り替えしていたが、令和 5 年度から **10%に変更**した。令和 8 年度の予算は昨年度予算の**同額 170 万円**を見込む。

8. 会費収入および会勢拡大について

(収入：会費)

- ・ 入会者は、年々大幅な減少傾向にある。
- ・ 令和7年度は、会費制度で長期会員制度（会費3万円）を導入することにより、若干の会員増加と会費増加があった。令和8年も同様の傾向を期待する。
- ・ 工学部で実施されている「保護者説明会」で工業会の入会を促す資料配布を行い、さらなる会員増加を期待する。
- ・ しかし、新入会については不確実性が高いため、令和8年度会費収入は令和7年度予算と同等を見込む。

(収入：賛助会員)

- ・ 令和6年度から、賛助会員が合計2社となった。令和8年度も継続されることを期待し、合計年会費6万円を見込む。

(収入：同窓会連合会)

- ・ これまで収入源であった同窓会連合会からの還元金については、連合会の制度変更により令和6年度は大幅縮小した。令和7年度は増加したものの、令和8年度の状況は不明であるため、予算としてはゼロを見込む。

(支出：会費等集金費（入会案内作成等）)

- ・ 令和7年度予算と実績値の中間値程度（30万円）を見込む

9. 資金運用拡大による利子・配当金増加

- ・ 従来資金運用は国債のみであったが、令和5年に、約5年で償還できる低リスクの社債および社債型株式への資金運用を行い、令和6年度、令和7年度にさらに追加を行った。これらによる利子・配当金として80万円+70万円=約150万円を見込む
- ・ なお、将来、これらの運用資金は減少するため、当収入は減少することに注意が必要である。

10. その他

- ・ 光熱費増加などを見込む

以上の計画により、令和8年度は以下の収支を見込む（詳細資料1-2参照）

工業会本体収支（支部会計移管を含まない）

	令和7年度予算	令和7年度決算	令和8年度予算
収益	5,147,000	6,980,600	5,520,000
費用	11,530,500	9,866,073	11,390,000
収支（収益-費用）	-6,383,500	-2,885,473	-5,870,000

以上

第2号議案資料2

大阪大学工業会（本体）収支推移および令和8年度予算（案）

寄付等臨時収入除く

工業会本体					
収 益	R6年度決算 臨時除く	令和7年度予算 寄付除く	令和7年度決算 寄付除く	令和8年度予算 寄付除く	内 容
受取会費 会員会費	2,417,000	2,100,000	3,224,000	2,100,000	入会金
賛助会員会費	60,000	60,000	60,000	60,000	賛助会員会費
連合会還元金	58,000	0	100,000	0	同窓会連合会還元金
中計	2,535,000	2,160,000	3,384,000	2,160,000	
事業収益 広告事業収益	147,070	147,000	161,920	160,000	テクノネット広告費
受取寄付金	0	0	0	0	寄付金
雑収益 受取利息	837,498	840,000	843,578	800,000	国債・社債 金利
有価証券運用益	380,325	300,000	705,544	700,000	株式配当
内部振替 事務手数料（その他事業）	1,988,266	1,700,000	1,885,558	1,700,000	社会人教育事業振替
簿外資産振替（支部）	0	0	0	0	支部資金移行（臨時）
中計	3,206,089	2,840,000	3,434,680	3,200,000	
収益合計	5,888,159	5,147,000	6,980,600	5,520,000	
費 用	R6年度決算	令和7年度予算	令和7年度決算	令和8年度予算	
事業費 印刷製本費	1,344,794	1,900,000	1,468,981	1,750,000	テクノネット印刷配送
講演会費	83,411	200,000	33,411	200,000	総会・共催行事講演会
奨学事業費	433,302	500,000	524,021	550,000	工業会賞、吹田祭支援
支部事業推進費	337,754	500,000	383,614	500,000	支部活動支援
情報配信サービス事業費	98,780	610,000	92,180	600,000	HP維持、改造
キャリアアップ支援費	27,000	50,000	30,000	50,000	大学共催行事支援
会議費（事業用）	0	30,000	52,200	60,000	編集委員会等会議費
減価償却費（HP）	139,500	139,500	0	0	PC原価償却（社会人事業除く）
中計	2,464,541	3,929,500	2,584,407	3,710,000	
管理費 給与	4,154,050	4,040,000	3,942,500	4,040,000	事務局3名
法定福利費	57,609	58,000	35,704	57,000	事務局3名
旅費交通費	775,730	770,000	713,690	750,000	事務局3名
通信費	64,964	80,000	82,306	90,000	電話、郵送費
会議費（管理用）	184,600	200,000	242,919	260,000	総会・理事会会議費
消耗品費	24,860	100,000	62,097	100,000	事務用品費
光熱水料費	88,844	120,000	84,330	120,000	事務局光熱費
賃借料	137,329	140,000	137,800	140,000	事務所賃借料
租税公課	197,105	200,000	247,525	250,000	金利等への課税
支払負担金	60,000	60,000	60,000	60,000	大学サーバ料
リース料	287,760	290,000	287,760	290,000	プリンタリース
会費等集金費	341,378	350,000	260,507	300,000	入会案内関係等
会員管理システム費	238,040	250,000	240,240	250,000	会員管理システム維持データ入力
支払報酬	544,500	550,000	572,000	580,000	会計事務所委託等
雑費	273,974	330,000	263,394	330,000	委任状印刷等
手数料	50,820	60,000	46,222	60,000	振込手数料等
消費税	0	3,000	2,672	3,000	広告費に対する消費税 （事業年度の翌年納付）
中計	7,481,563	7,601,000	7,281,666	7,680,000	
費用合計	9,946,104	11,530,500	9,866,073	11,390,000	
収支（収益－費用）	R6年度決算 臨時除く -4,057,945	令和7年度予算 寄付除く -6,383,500	令和7年度見込み 寄付除く -2,885,473	令和8年度予算 寄付除く -5,870,000	
年度末資産 （時期づれあり）		2024年度末 120,446,468	2025年度末 117,145,862		